

# 甲状腺全摘術を受けられる患者さんへ

患者ID  
氏名

担当医  
担当看護師  
配付日

	入院: 1病日 手術1日前	2病日 手術当日(手術前)	3病日 手術当日(手術後)	4~6病日 手術後1日目	7~8病日: 退院 手術後2~4日目	手術後5~6日目	【退院後の生活について】
達成目標	・手術後の経過について理解できる		・創部の腫れや出血がない ・痛みによる苦痛がない			・退院指導の内容を理解できる	<p>・手術後、低カルシウム症により、手足、唇のまわりがしびれたり、ひどくなると手足の筋肉が硬直して自分で動かせなくなるテタニーという症状が出ることがあります。個人差はありますが、カルシウムの補充が1年以上必要なこともありますので、定期的な通院を継続してください。また、内服薬は自己中断せず、指示通りに内服してください</p> <p>・手術後しばらくは、激しい運動は避けてください。仕事やスポーツについては、外来受診時に医師に確認してください</p> <p>以下の症状がある時はご連絡ください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創部の腫れ、出血</li> <li>・創部の痛み</li> <li>・創部の熱感</li> </ul> <p>【緊急連絡先】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平日時間内(8:30~17:00) 耳鼻科外来 0985-85-9889 総合予約室 0985-85-1225</li> <li>・土日・祝日、時間外 7階西病棟 0985-85-1042</li> </ul>
内服	・薬剤師が、持参薬及び服薬状況について確認します			・甲状腺ホルモンの薬を内服します ・抗菌薬を3~5日間、内服します 			
手術・輸血		手術 					
注射		・点滴をします 	・点滴を抜きます				
検査	・採血  ・身長・体重測定 			・採血 			
処置		・弾性ストッキングを着用します(必要時)		・歩行後は弾性ストッキングの着用は不要です			
			・手術室で尿の管を入れます。 尿の管は、医師の指示で抜きます				
			・手術室で創部にドレーン(管)を入れます  ・心電図、酸素飽和度モニターをつけます	・創部のドレーンを抜きます	・創部の抜糸をします	・心電図、酸素飽和度モニターを外します	
食事	・夕食後は、指示された時間から飲食はできません	・飲食はできません 	・食事はできません ・医師の指示後、飲水できます	・医師の指示後、3分粥から開始し、常食まで、徐々に食事の形態を変更します			
活動・安静	・制限はありません	・病室内でお過ごしください	・ベッド上安静です ・尿の管を抜いたら、トイレまで歩けます ・初めて歩くときは看護師が付き添います	・制限はありません			
清潔	・シャワー浴をしてください 	・手術までに洗面を済ませてください	・シャワー浴はできません	・上半身は身体を拭きます ・下半身はシャワー浴ができます	・シャワー浴ができます		
リハビリ							
説明	・医師が手術の説明をします ・手術室の看護師が、手術に伴う確認や諸説明をします  ・入院オリエンテーションを行います ・患者用クリニカルパスを用いて、治療スケジュールについて説明します		・医師が手術後の説明をします 		・退院後の生活について説明します		
その他	・手術の同意書は職員にお渡しください  ・お化粧は落としてください ・手足の爪を切り、マニキュアは落としてください ・手術に必要な物品を看護師が確認します 【必要物品】 ・T字帯1枚 ・バスタオル1枚 ・スプーン ・曲がるストロー ・髪を結ぶゴム(必要時)	・手術衣に着替えます ・義歯、コンタクトレンズ、時計、アクセサリー等は外し、保管してください ・貴重品は、ご自身又はご家族で管理してください ・ご家族は7階デイルーム・面談室で待機してください。場所を移動される時は必ず職員へお声掛けください	・痛みがあれば鎮痛剤を使用しますので、我慢せずにお知らせください 				

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がございましたらいつでもお尋ねください。